



2026年 10月10日
第66号

JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一

編集 情宣 担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



不当労働行為損害賠償請求第5回口頭弁論 第5回公判に合わせたビラ配布行動と裁判報告集会を開催！

「大宮地本不当労働行為損害賠償請求」の第5回口頭弁論が10月9日に行われました。横浜地本ではビラ配布行動と大宮地本報告集会（横浜地本からのリモート含む）に参加しました。

横浜地本 駅頭ビラ配布行動 16名で299枚を配布！

鶴見駅



戸塚駅

16名で実施したビラ配布行動では、街の方から「JRはまだ国鉄時代みたいなことをしているのか」「いい会社だと思っていたのに」「自分は会社の社長だけど労働組合の意見は貴重」といった声をいただきました。

ビラ配布後の報告集会では、原告側が原告のNさんと大宮地本執行委員長が、被告側は被告のS副長と経営幹部のY執行役員への証人尋問が行われ、原告側の2人からは「とても緊張した。東労組の仲間がいなければここまではできなかった。」といった感想と、「被告のS副長は会社の組織に入った途端、法廷の場でも平気で嘘をつくようになってしまった」。Y執行役員は主尋問で「不当労働行為の対策は完璧だ」と証言をしましたが、反対尋問で今事件以降8件の不当労働行為が発生していることについて「知らない」と証言をしたと報告がありました。

報告集会に参加した方からは「これまで組合役員だった人の心が会社側になるとガラッと変わってしまう会社は怖い。嘘をつかせてしまう会社の質になっている」といった意見が出されました。



**今後は判決に向けた動きが加速していきます！真実を語り広め、
嘘ごまかしのない、安心して働ける健全な会社をつくり出すためにみんなでたたかおう！**